

英語科教育法Ⅲにおける 一枚ポートフォリオ評価 (OPPA) の教育効果

田村 岳充

宇都宮大学共同教育学部教育実践紀要 第9号 別刷

2022年8月31日

英語科教育法Ⅲにおける 一枚ポートフォリオ評価(OPPA)の教育効果[†]

田村 岳充*

宇都宮大学大学院教育学研究科*

本稿では、2021年度後期に開講された英語科教育法Ⅲの授業で活用した振り返りシートに焦点を当て、その教育効果について、受講者を対象としたアンケート調査の結果を基に考察する。使用された振り返りシートは、堀(2019)が提案する一枚ポートフォリオ評価(One-Page Portfolio Assessment, OPFA)の考えに基づいて作成されたOPPシートで、受講者が一枚の用紙の中に学習前・中・後の履歴を記録し、その全体を受講者自身が自己評価するものである。アンケート調査の結果、多くの受講者が自己の変容を自覚したり、自分の学習状況を客観視できたりする効果を実感したことが明らかになった。限られた授業時間の中で学ぶべきことが非常に多い授業科目においても、OPPシートを活用した振り返りを行うことにより、受講者が主体的に学習に取り組む姿勢を引き出すことができる可能性が示唆された。

キーワード：一枚ポートフォリオ, 自己評価, 省察

1. 本実践の背景

筆者は中学校教員を24年間務め、その後本学共同教育学部に移った実務家教員である。教員として最後に勤務した本学共同教育学部附属中学校に9年間在籍し、その間、本学部からの教育実習生(以降、実習生)を数多く受け入れた。大学教員となり中学校教員時代とは逆の立場として実習生を送り出す側に立つことになった。担当する主な授業には、学部3年生向けの英語科教育法Ⅱ、英語科教育法Ⅲがある。前者は、9月に実施される教育実習(以降、実習)2開始前の前期に、後者は、実習2の終了直後から始まる後期に開講される。筆者の附属中学校での実習生受け入れ経験を踏まえ、実習開始前に授業で学んでおくよと感じてきたことを英語科教育法Ⅱの内容にできる限り取り入れるとともに、実習後の英語科教育法Ⅲでは、受講者が実習の成果と課題を改めて自覚し、次年度学部4年生として受講する教

職実践演習での模擬授業や、卒業後教壇に立って行う授業づくりに生かしていけるよう、実習の振り返りを充実させるよう努めている。しかし、中・高等学校教員養成課程外国語(英語)コア・カリキュラム(東京学芸大学, 2017)によって中・高等学校の英語教員養成段階で学ぶべき内容が体系的に示されたことで、授業で扱うべき内容がこれまで以上に充実・整備され、結果としてかなりのボリュームとなった。限られた時間の中でそれら一つ一つを丁寧に教授しつつ受講者の理解を深めることだけでも容易ではないが、教育実習に向けての実践力を高めるために模擬授業を行ったり、教育実習後の省察をじっくりと行ったりすることも必要であり、全てを充実させることは至難の業である。

上述のような課題を克服するため、授業者である筆者が全てを担うのではなく、受講者がより主体的に学び、学習内容について深く思考したり、実践と結びつけながらイメージを膨らませたりする姿勢を育むことができる授業を実践しようと考えた。そのための鍵としたいのが、振り返りの充実である。授業のねらいである実践力(英語授業力)の向上を達成するため、受講者自身が自己の学習状況を客観的に捉え、主体的に学習に取り組むことができる振り返りシートを取り入れることにした。

[†] Takamitsu TAMURA*: Educational Effectiveness of One-Page Portfolio Assessment (OPPA) in Methodology of Teaching English Language III
Keywords: One-Page Portfolio Assessment, Self-Assessment, Reflection

* Graduate School of Education, Utsunomiya University
(連絡先: tamuratakamitsu@cc.utsunomiya-u.ac.jp)

2. 本実践の目的

本実践の目的は、1. で挙げた課題を克服するため、授業で活用する振り返りシートを見直すとともに、改善したシートを活用することで受講者の学びを深化し、主体的な学習に取り組む姿勢を引き出すことができるか、その教育効果を探的に検討することである。実践の対象として、筆者が後期に担当している英語科教育法Ⅲを活用する。

3. 英語科教育法Ⅲの概要

2021年度の英語科教育法Ⅲの受講者は29名であった。29名の内訳は、共同教育学部生27名（英語分野21名、特別支援教育分野1名、学校教育分野5名）と国際学部生2名である。実際には後期内地留学生の現職教員1名（中学校）、教職大学院に在籍中の現職教員1名（中学校）が聴講したが、上述の受講生数には含めていない。到達目標として、筆者は表1に示す3点を掲げている。

表1 英語科教育法Ⅲの到達目標

マクロ、ミクロの視点で英語授業への認識を深め、以下の点を身に付ける。
・教科「英語」の目標に照らした、1時間の授業を展開できる。
・授業作り、授業の振り返りにあたり、常に学習者中心、コミュニケーション重視の姿勢を保つことができる。
・反省的に授業改善を継続できるよう、授業分析力、授業改善力、そのための自己啓発力を養う。

4. 2020年度までの振り返り

1. で触れたように、本実践の重点である振り返りを充実させるため、筆者がこれまで行ってきた実践を改めて省察した。2020年度まで過去3年間の英語科教育法Ⅲでは、毎時間の授業の終わりに5分ほどの時間を取って授業の振り返りをさせていた。

図1 2020年度までの振り返りシート

授業名		
履修者氏名		
学籍番号		
授業回	授業日	授業で学んだことなど
第1回		
第2回		
第15回		

A4サイズ縦1枚の振り返りシートを色紙に印刷し

て配付し、半期を通して使用した（図1）。この振り返りシートには、何を学んだかという毎回の学習内容のみが記されることになるため、構造上各回の授業の関連付けは意識されにくい。そのため、半年後に受講者が改めてシートへの記述を見返したとき、自分が何をできるようになったか、自分にどのような変容が起こったのかをつかみ取ることも難しい。

5. 一枚ポートフォリオ評価（OPPA）の活用

堀（2019）は、これまで学校教育で行われてきた、教科の学習内容を学習者に理解させることへの偏重に警鐘を鳴らすとともに、より重視すべきことは学習者の資質・能力を育むことだと述べている。そこで学習者が自分自身の資質・能力の伸びや変容を捉えることができるよう、また、教員がそれらを捉えることができるように、一枚ポートフォリオ評価（One-Page Portfolio Assessment、以下、OPPA）を活用することを提案している。堀によれば、OPPAとは、授業者がねらいとする授業の成果を、学習者が一枚の用紙の中に学習前・中・後の履歴として記録し、その全体を学習者自身が自己評価する方法である。OPPAでは、一枚のシート（OPPシート）を活用する。堀の定義に沿ったOPPシートのイメージを図2に示す。

図2 OPPシートのイメージ

学習の流れ全体を貫く本質的な問い			
【学習前の段階】問いに対する学習者の記述			
回	タイトル	一番大切だと思ったこと	コメント
学習の流れ全体を貫く本質的な問い			
【学習後の段階】問いに対する学習者の記述			

図2のように、OPPシートには、学習に入る前と、学習を終えた後に、同じ内容の学習全体を貫く本質的な問いが示されている。学習の前後で書かれた記述を学習者自身が読み返すことで、学習者が自分の考えがどのように変容したのかを客観的に捉えることができるようなつくりになっている。また、学習

の履歴として学習者自身がその回の授業タイトルと、授業において一番大切だと思ったことを書き留める欄が設けられており、学習者自身がその授業回で何を学んだか、自分の中に最も残っていることを書くことで、学習者自身のメタ認知の機会となっている（教員がそれを読むことで学習者の思考について捉える機会にもなっている）。このような特徴を持つOPPシートを活用することにより、先述した筆者の授業における課題や、これまでのガイダンスと振り返りの具体的な問題点を解消することにつながるのではないかと考え、堀が例示するOPPシートを参考にしながら、図3のような英語科教育法ⅢのOPPシートを作成し、授業で活用することにした。

図3 2021年度の英語科教育法Ⅲで使用したOPPシート

英語科教育法Ⅲ 学びの軌跡

学籍番号	分野	氏名
【対面授業での学び始める前】		
教育実習を通して気づいたこと、学んだこと、そして明らかになった自分自身の課題を踏まえ、英語授業実践力をさらに高めるためにどのようなことが必要だと思いますか。自分の考えを書いてください。		
授業のネーミング	授業を通して学んだ、一番大切なこと	
11/10		
11/17		
~~~~~		
1/12		
1/19		
1/28 (最終授業)		
【半期の授業を終えて】		
教育実習を通して気づいたこと、学んだこと、そして明らかになった自分自身の課題を踏まえ、英語授業実践力をさらに高めるためにどのようなことが必要だと思いますか。自分の考えを書いてください。		

2021年度後期はコロナ禍で10月の対面授業が行えない状況であった。11月から対面授業が再開されたため、紙ベースのOPPシートを11月初回の第5回の授業で配付し、その使い方をガイダンスするとともに、OPPシートを活用した振り返りを開始した。毎回の授業が終わりに5分程度の時間を取り、受講者自身が考えた授業タイトルと、一番大切だと思ったことを記述させ、提出させた。筆者は、授業後に一つ一つの記述を読んで受講者個々の学習状況を捉えるとともに、フィードバックコメントを加えた上で、次の授業の冒頭に返却した（このサイクルを最終回の授業まで繰り返した）。最終回の授業の終末に20分程度の時間を取り、OPPシートに綴ってきた自分の記述を改めて見返すよう指示するとともに、本質的な問いへの答えを書き込ませた。実際に受講者が記載したOPPシートの一例を図4に示す。

図4 実際のOPPシート記載例

英語科教育法Ⅲ 学びの軌跡

学籍番号	分野	氏名
【対面授業での学び始める前】		
教育実習を通して気づいたこと、学んだこと、そして明らかになった自分自身の課題を踏まえ、英語授業実践力をさらに高めるためにどのようなことが必要だと思いますか。自分の考えを書いてください。		
今年を振り返り、英語は単語の「時間目的の授業を10分程度、日本語が残り、ゲームで慣れることが多かった」に対して、半年生では単語も英語も説明し、見聞の範囲は英語を学習、内容は単語問題、そのほかもやや高度だ。半年生でしっかりと英語を覚えるべく、外国語活動でも英語をたくさん聞かせ、そのためにはどうが活動や教材の活用が有効か考えてほしい。		
授業のネーミング	授業を通して学んだ、一番大切なこと	
11/10	自分が小学低学年の時に比べて大きく進歩していると感じ、学習に対しては英語でやることを覚悟して単語を覚えることに決めた。それを知らずに単語を覚えることが多かった。	
11/17	単語を覚えることが目的の授業は、覚える単語を覚えることが目的で覚えることが多かった。単語を覚えることが目的の授業は、覚える単語を覚えることが目的で覚えることが多かった。	
1/12	単語を覚えることが目的の授業は、覚える単語を覚えることが目的で覚えることが多かった。単語を覚えることが目的の授業は、覚える単語を覚えることが目的で覚えることが多かった。	
1/19	単語を覚えることが目的の授業は、覚える単語を覚えることが目的で覚えることが多かった。単語を覚えることが目的の授業は、覚える単語を覚えることが目的で覚えることが多かった。	
1/28 (最終授業)	単語を覚えることが目的の授業は、覚える単語を覚えることが目的で覚えることが多かった。単語を覚えることが目的の授業は、覚える単語を覚えることが目的で覚えることが多かった。	
【半期の授業を終えて】		
教育実習を通して気づいたこと、学んだこと、そして明らかになった自分自身の課題を踏まえ、英語授業実践力をさらに高めるためにどのようなことが必要だと思いますか。自分の考えを書いてください。		
今回の授業を通して英語は10分程度、日本語が残り、ゲームで慣れることが多かった。単語を覚えることが目的の授業は、覚える単語を覚えることが目的で覚えることが多かった。単語を覚えることが目的の授業は、覚える単語を覚えることが目的で覚えることが多かった。		

## 6. 受講者対象のアンケート調査

最終回の授業の際、OPPシートについて尋ねるアンケート調査への協力を受講者に依頼した。「OPPシートを活用したことで、授業開始時点と終了時点とで、自分の思考に変容があったか」「OPPシートに毎回の授業のタイトルをつけること、一番大切だと思ったことをコンパクトにまとめて書くことについてどのように感じているか」の2点について自由記述での回答を求めるとともに、「OPPシートによって自分の学習状況を客観視できたか」を「全くできなかった」から「十分できた」までの6件法で問うとともに、回答の理由を尋ねた。回答はOPPAの教育効果について報告する学部の実践紀要論文に生かされること、個人が特定されないことがないように十分配慮がなされること、回答が成績に一切影響を及ぼさないことを冒頭の依頼文として掲載するとともに、協力の可否を受講者が決定できることを伝えた。最終的に当日欠席した3名を除く出席した26名の受講者から回答が得られた。

## 7. 結果と考察

### (1) 結果

自由記述式の2つの設問への回答と、6件法による回答の理由について、26名の回答内容をコンピューターに全てテキスト入力し、質的データ分析のためのQDAソフトで処理し、コード付与を行った（同じ受講者の回答に複数の視点からの記述がある場合も多く、その場合には個別にコードを付与している）。また、6件法による選択式の設問につい

ては回答された数を集計して分析した。それらの結果を以下に報告する。

### ①【設問①】 授業開始時点と終了時点とで、自分の思考に変容があったか

表2 【設問①】 回答に付与されたコードと記述数

No.	付与されたコード	記述数
1	メタ認知（自分自身の変容）	17
2	学習ポイントの焦点化	7
3	学習歴の見える化	4
4	メタ認知（課題の自覚）	4
5	学習意欲の向上	2
6	各回の授業のつながり	1
7	その他（印象に残っていること）	1

表2に示したとおり、設問①への回答に付与されたコードは7種類である。最も多かったのは、「メタ認知（自分自身の変容）」で17の記述が見られた。一例を取り上げると、「授業を通して自分に英語授業の知識がついたことが分かった。授業前の自分の思考は感じたことの派生でしかなかったが、授業後の思考は自分の知識や授業の中で考えたことから来るもので、実践的な考えが新しく身に付いた。」と記述されている。26名から17の記述があったということから、OPPシートを使うことで授業開始前時点と終了時点で自分自身に変容があったと感じている受講者が多数いたことが分かる。また、OPPシートによって学習ポイントが焦点化されたり、自分の学習歴が見える化されたりする効果について述べているものや、自分の課題を自覚できたり、学習意欲の向上につながったりするという記述もあった。

### ②【設問②】 授業タイトル、一番大切だと思ったことを書くことについてどう受け止めたか

表3 【設問②】 回答に付与されたコードと記述数

No.	付与されたコード	記述数
1	一番大切なことを書く効果	25
2	タイトル付けの効果	17
3	コンパクトさのデメリット	8
4	タイトル付けのデメリット	4

表3に示したとおり、設問②への回答に付与されたコードは4種類である。最も多かったのは、「一番大切なことを書く効果」で25の記述が見られた。

1名を除く25名の受講者が触れている。「一番大切だと思ったことを書いたことで、その回の授業が頭の中に整理され、後日見た際にも思い出しやすかった。」などの意見が寄せられた。また「タイトル付けの効果」にも17の記述があり、「タイトルを付ける必要があるため、授業の要点を意識しながら受講することができた。」「タイトルを自分で付けることで自分の学びにより責任を持つようになり、より能動的な学びができたと思う。」のような記述があった。一方、大切なことをコンパクトにまとめることや、タイトル付けをすることについてのデメリットについてもそれぞれ、8件、4件の記述があった。「多くのことを学ぶのでコンパクトにまとめるのは難しい。」「もっとスペースがほしかった。」「感想なども書き、それに対する先生からのコメントを楽しみにしていた。」「このタイトルでこの回をまとめられているのかと不安になることがあった。」のような意見が見られた。

### ③【設問③】 自分の学習状況を客観視できたか

表3 【設問③】 選択肢ごとの回答数

全くできなかった	できなかった	あまりできなかった	少しはできた	できた	十分できた
0	1	0	5	16	4

OPPシートの活用により、自分の学習状況をどの程度客観視できたかという設問について、表3のような回答状況となった。1名を除き、肯定的な回答がなされている。「できなかった」と回答した1名については、理由の記載がなかったため否定的な回答をした理由を捉えることができなかった。

肯定的な回答をした理由として、OPPシートのつくり（レイアウトや記載された項目などの構造）について挙げている記述が多かった。そのメリットとして、「授業の内容やそのときの自分の気付きなどを想起させてくれる」のような意見も多く寄せられた。また、2件ではあるが、自分が教員になったときに使ってみたい、という先々の見通しについて書かれたものもあった。

### (2) 考察

堀（2019）は、OPPAの理論的骨子として、①学習によって学習者の何がどのように変容したのかを重視する構成主義に基づくこと、②学習者にどのような資質・能力が育成されつつあるのか学習過程

を重視すること，③学習過程・変容を明確にするポートフォリオ評価であること，④学習者の変容・学習成果を適切に見取る評価であること，⑤一枚のシートで診断的・形成的・総括的評価を行えること，⑥学習者の思考や認知過程の内化・内省・外化を重視すること，⑦自己評価を活用したメタ認知能力を育成すること，の7つを挙げている。7(1)で述べたように，授業者である筆者，そして受講者にとって初めてのOPPシートの活用であり，使うことへの不慣れなども想定される中でも，堀の挙げる7つのポイントに迫るような教育効果のあることがアンケート調査の結果から示唆されたのではないだろうか。

本実践は，英語科教育法Ⅲのみを対象として行われたものであり，受講者数も限られたものであるため，OPPシートの教育効果について一般化はできないが，OPPシートが受講者の学びを深化し，主体的な学習に取り組む姿勢を引き出す可能性を持っていることが示されたと言えるだろう。

#### 引用・参考文献

東京学芸大学. (2017). 「文部科学省委託事業『英語教員の英語力・指導力強化のための調査研究事業』平成28年度報告書」 Retrieved from <http://www.u-gakugei.ac.jp/~estudy/report/> (2022年2月16日)

堀哲夫. (2019). 『一枚ポートフォリオ評価OPPA一枚の可能性』東京：東洋館出版社.

令和4年4月1日 受理







# Educational Effectiveness of One-Page Portfolio Assessment (OPPA) in Methodology of Teaching English Language III

Takamitsu TAMURA